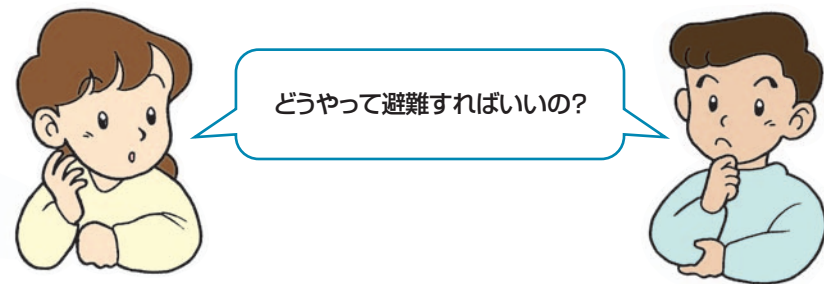


避難の心得 について



1 避難する前に!

戸締まりや火の始末をしましょう。貴重品や非常持出し品を忘れずに。また親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



2 複数で避難・隣近所に声をかけましょう!

避難するときは複数で、一人だけ事故にあったとき非常に危険です。また、隣近所に声をかけて行きましょう。



3 お年寄りなどの避難に協力しましょう!

お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方が、早めに避難できるよう、近所のみなさんは避難に協力しましょう。



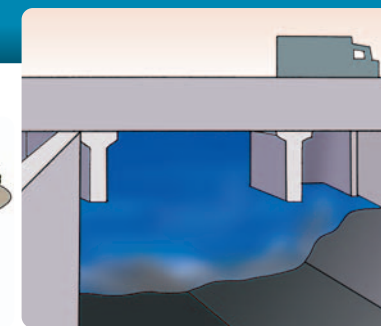
4 車での避難はひかえましょう!

車での避難は渋滞を招き緊急車両の妨げになったり、道路冠水などにより動けなくなります。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。



5 危険な場所は避けて避難しましょう!

ガード下や、がけ地、堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋についても安全を確認してから渡りましょう。



6 靴は運動靴で、足元の安全を確認しましょう!

冠水した道路は足元が見えないため危険です。先頭に立つ人は傘や長い棒などで確認しながら進みましょう。



7 万が一、逃げ遅れたら!

近くの丈夫な建物の三階以上に避難して救助を待ちましょう。住宅の二階部分でも場所によっては危ないときもあります。



浸水の状況

この地図では、大雨で河川が氾らんした時に予想される水深を色別で表しています。水深の目安はおよそ次のとおりです。

【浸水深】	【水深の目安】
5.0m	2階の軒下までつかる程度
2.0m	1階の軒下までつかる程度
1.0m	おとなの腰までつかる程度
0.5m	おとなの膝までつかる程度

水深が、0.5mを超えると避難が非常に困難になります。早めの避難を心がけましょう。

